

Title	Factors affecting the creation of new local business in developing countries
Sub Title	途上国の新規ローカル起業を促進する要因について
Author	相原, 弥生(Aihara, Yayoi) 岡田, 正大(Okada, Masahiro)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2012
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2012年度経営学 第2718号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002012-2718

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程

学位論文（ 2012 年度）

論文題名

**Factors affecting the creation of new local business
in developing countries**

主 査	岡田 正大
副 査	浅川 和宏
副 査	小幡 績
副 査	飯盛 義徳(慶應義塾大学総合政策学部准教授)

2013年1月7日 提出

学籍番号	81130019	氏 名	相原 弥生
------	----------	-----	-------

論文要旨

所属ゼミ	岡田正大研究会	学籍番号	81130019	氏名	相原 弥生
(論文題名)					
Factors affecting the creation of new local business in developing countries					
(内容の要旨)					
問題意識					
<p>国連 Millennium Development Goals の貧困の削減に寄与すべく、途上国の経済発展には、現地の起業家によるローカルビジネスの活性化が必要であると考えます。</p> <p>先進国企業の直接投資による雇用創出のインパクトが大きいと言われているが、その反面で政治不安定な状況下で政策的な法規制などの変化が起こりやすく、多国籍企業の撤退や規模の縮小が発生しやすいため、持続可能性の高いインパクトに期待する事が困難である。</p> <p>政治不安定、気候変動の影響を受けやすい第一次産業への高依存など、従来から不確実性の高い環境におかれている途上国ビジネスは、現地の起業家によるローカルビジネスの活性化が必要である。現地の起業家によるローカルビジネスは雇用や生産・調達・販売が現地に根ざしている事から撤退の可能性が低く、先進国企業の直接投資よりも現地で事業継続性が高いためである。</p> <p>途上国では家庭の貧困や学校へアクセスの悪さなどにより就学率が低い。高学歴の者には安定した就職の機会が与えられるが、就学率の低さからその機会は一部の人に限定されている。失業率が高く、雇用の需要が少ない状況、すなわち所得機会の不足(=貧困)は、これまで援助によって解消されてきた。「援助慣れ」という言葉にも象徴されるように、途上国の貧困問題は、先進国の ODA や国連などの国際組織による継続的な努力で改善されてきたが、十分に期待された成果が得られていない。援助の是非以外に現地の内的な要因が重要であるとの指摘も存在する(William Easterly, 2005)。そこで本論では、ローカル起業家が生まれることにより、学歴を問わず失業率を下げ、所得を確保するにはどうしたらよいかを考察する。ローカル起業家が多く現れることで雇用創出、所得増加の効果が期待できる。この論文では、特にローカル起業家が起業する際の内的要因、主たる起業へのモチベーションは何なのかを考察し、ローカル起業家の出現を促す条件を明らかにした。</p>					
仮説の導出					
H1 : 職業経験と教育機会は起業家増加に正の影響を与える					
H2 : ロールモデルの存在が起業家増加に正の影響を与える					
H3 : 出稼ぎ労働及び出稼ぎ労働の勤務地の多様性はビジネスチャンス認知を促すため起業家増加に正の影響を与える					
H4 : 交通インフラ(TVメディア、インターネット、携帯電話)の整備はビジネスチャンス認知を促すため起業家増加に正の影響を与える					
H5 : 顧客の付加価値認知はビジネスチャンスを促すため起業家増加に正の影響を与える					
研究方法					
事例研究を行う。					
* 2012年8月4日から10日間、ガーナ及びタンザニアのフィールドスタディに参加する。その際に現地の起業家にインタビューをする。					
* 日本在住の途上国出身者で且つ起業経験のある人物にインタビューをする。					